

## 令和元年度第2回学校評議員会記録

1 日 時 令和2年2月19日(水) 10:30～11:45

2 場 所 本校応接室

3 出席者 高瀬 哲敏 評議員、 小宮山 晴夫 評議員、 高村 光輝 評議員  
片岡 順一 校長、 嶋 隆 副校長、 藤田 幸一 事務長、  
勝又 慎介 教務主任、 三浦 穰 生徒指導主事、 及川 満 進路指導主事、  
瀧口 千明 総務主任、 久保 幸 総務記録

### 4 内 容

#### (1) 開会

#### (2) 校長挨拶

#### (3) 本年度の取組状況等説明

##### 1 秩序ある生活態度の育成安全教育の徹底

(学校評議員)

- ・ (達成指標について) 自己肯定感を高めるためにどのような取組をしているか。
- 学校外でも活動させて、できることがあるという自信を持たせたい。また、総合的な学習では外部とも連携していきたい。

##### 2 主体的学習態度の育成と学力向上の推進

(学校評議員)

- ・ (2年生の家庭学習時間の平均が他学年に比べて短いことに関して) やる気のある生徒を伸ばしていったらどうか。

##### 3 学習指導内容の精選と指導法の工夫・改善

(学校評議員)

- ・ (「解る授業」について) 授業が速く進みすぎて定着しないということがあるのではないか。じっくりと教え、演習は生徒自身でやるというほうが良いのではないか。検証してみたらどうか。

##### 7 「チーム盛北」としての組織対応とコンプライアンス意識の醸成

(学校評議員)

- ・ (教職員の負担軽減について) 職員を増やすか、仕事量そのものを減らさないと難しい。減らそうとしている業務は何か。
- 部活動の休養日設定や行事の精選を行っている。また、会計職員を雇用している。
- ・ (部活動指導の負担軽減について) 部活動よりも勉強を優先したいという生徒もいる。課題を生徒に投げかけて、必要があれば手助けするというやり方で業務を減らしてみたらどうか。

(4) 令和元年度学校評価アンケート報告

(5) 意見聴取

- ・盛岡北高校を志望する理由として、先生が熱心であり、先生と生徒の関係が良いということ  
を挙げる中学生が多い。
- ・（本校生徒の活動が掲載された新聞記事の掲示を見て）学校外での活動も通じて、生徒が自  
己肯定感を高めているということを実感した。
- ・学校行事や学習活動などにおいては、生徒自身が企画や計画をし、実際にやってみて、そし  
て失敗するというような経験が必要なのではないか。生徒にかける時間の内容を精選し、心  
を育てることが、積極性や自己肯定感にもつながるのではないか。
- ・施設の老朽化が気になった。生徒のモチベーション低下も危惧されるので改善を強く要求し  
てほしい。
- ・魅力ある学校にするための方策を職員から出して実施すれば、生徒や保護者にもその魅力が  
伝わっていくのではないか。ぜひ魅力ある学校をつくってほしい。

(6) その他

なし

(7) 閉会